

28	火山と防災	学習日	月	日	名前：
----	-------	-----	---	---	-----

教科書 p 184～185

1. 火山とは

火山は（1）が地上まで上昇して噴出することによって形成される
過去1万年以内に噴火があった火山は（2）と呼ばれ、気象庁が常時監視している

2. 噴火による災害

火山の噴火による噴出物
軽いものから順に火山ガス・火山灰・火山砂・火山弾など

火山ガス

火口から噴出するガス。非常に高温で、雲のような状態になることがある。これが山体を下り、山麓に押し寄せてきたものを（3）という

火山灰

火口から噴出した灰。吸い込むと肺や気管支に影響がある。農作物、電子機器、交通機関に影響を与える。火山灰が積もった台地も各地に形成されている。大雨などの時に土砂災害が起こりやすい

火山弾

火口から噴出した石・岩。数kmほど飛ぶこともある。これにあたると建造物は当然壊れてしまう。人間にあたり、死亡することもある。

（4）
大雨によって斜面の土砂や岩石が流されること

3. 火山のめぐみ

観光地になる
火山、カルデラ湖などは美しい景色を作り出し、景勝地となる
ユネスコ（国連教育科学文化機関）から（5）に指定されているところもある
また、（6）は人々に癒しを与える

資源エネルギーをもたらす

マグマの上昇は金・銀・銅などの地下資源を地球内部から上昇させている
（7）発電はマグマによる地熱を利用している

教科書p182～183

1. 繰り返される災害

日本列島の周りにはプレートの境界が集中している
→歪みが溜まると地震が起こる。したがって、周期的に地震が起こりやすい
起こりやすい場所は（8）や（9）

そこで、過去の災害の記録から被害を防ごうという試みがなされている

- ・過去の文書などの記録を確認する
- ・津波が到達した場所にある石碑などを（10）とする
- ・地層などを調べる

地震の予知は難しいが、火山の噴火については成功したこともある
例）2000年の有珠山の噴火では事前に緊急火山情報を発令し、住民を避難させた
例）2014年の御嶽山の噴火では突然の噴火により59名が死亡

2. 災害が大きくなるところ

地震では、岩盤によって揺れ方が変わる
小さいところ
岩盤が地表面に露出しているところ（山地など）

大きいところ
地盤が軟弱なところ（泥炭地、三角州、埋立地、盛り土）

3. 災害を防ぐために

（11）
地方自治体が作成し公表している。災害ごとに発生の確率と被害の可能性を地図にしている
各個人で避難行動をシミュレーションしておくことも大切